



※★
事業名： 路線バス「水源池跡（片淵）～長崎駅前線」の運行

※★
実施者： 長崎県交通局

住所： 長崎市八千代町

電話： 095-822-5141

メール：

《事業概要》※★

それまで公共交通空白地域であった片淵・新大工地区から中央橋・夢彩都・長崎駅前といった中心部を結ぶ路線を小型バスで運行。（1日7往復）

路線バスでのアクセス向上により、人の交流が盛んになることで、「まちなか」の賑わいが活性化するとともに、高齢者や子ども連れの方など中心に利便性が向上することで、バスの利用促進にも繋がるものと期待して取り組んでいます。

《事業のきっかけエピソード》※★

片淵地区の市道拡幅（経済裏工区）が一部整備されたことに伴って、地元自治会等の声がきっかけで検討が始められましたが、一部狭い道もあり、安全性の確保が難しく、一旦はお断りしました。期待に応えるべく再考させていただき、県営バスと市の担当者、警察や住民の方々と一緒に現地を何度も歩き、バス停の位置を決めるなどして運行を開始しました。住民の皆さんとバス事業者、行政等の協力で実現した路線バスです。

《事業の中で大切にしているコト・モノ・キモチ》※★

県営バスでは「安全・確実・快適・親切」をモットーに、県民・市民などご利用の皆様の大変な生活の足として、信頼に応える公共交通機関を目指した取組を進めています。

《事業者としてのセールスポイント（強み）》※★

県営バスの車体カラーは赤色がお馴染みですが、この路線では、昭和時代に走っていた緑色に塗装した復刻カラーのバスで運行しています。

《事業者として困っている部分（弱み）》※★

少子高齢化が進む中、バス利用者の減少が想定されています。県営バスは、皆様の運賃収入によって運営されていますので、バスのご利用をお願いします。

《「これならまかせて！」（すぐにできる協力について）》

県営バスでは、生活に必要な路線バスを維持するため、高速バスや貸切バス、駐車場、バスや施設の有料広告（看板広告・放送広告）を取り扱っています。ご利用・ご用命をお待ちしております。

《繋がりのある人・よく話す人》

県営バスは、県・市等の行政機関、県内のバス事業者や公共交通機関とも連携しながらバス事業に取り組んでいます。また、高速バスも運行しており、市外のバス事業者とも協力しています。

《これまで作ったもの(パンフレット、本、イベントチラシ、マップなど)》

長崎市指定史跡「心田庵」が一般公開される秋・冬には、その周知PRと合わせて、バスの運行ルートや時刻表を記載したチラシを作成。(※心田庵は、令和3年度より施設整備のため休場されており、一般公開も中止されています。)

《認定事業以外に取り組んでいるコト・頑張っているコト》

県営バスでは、少子高齢化社会の取組として、お得な乗り放題バスを発売しています、運転免許証を自主返納された方を対象に「免許返納者パス」、65歳以上の方を対象に「プラチナパス65」を発売し、事故防止等の高齢者支援策に取り組んでいます。また、小学生を対象にした夏休み限定「夏休みこども定期券」の発売を通じて、バスの乗り方や乗車マナーの啓発にも取り組んでいます。

《フリースペース》

長崎県営バスは、昭和9年にわが国最初の国立公園である雲仙国立公園に係る旅客輸送手段として設立された公営企業であり、長崎市、諫早市、大村市を中心とする路線バス並びに各都市や長崎空港と長崎市を結ぶ都市間輸送などの「乗合事業」のほか、本県と九州4県を結ぶ「県外高速事業」、県内最大規模の車両数とガイドを有する「貸切事業」を中心に総合的なバス事業を展開している、日本で唯一の「県営バス」です。

県民・市民に愛されるバス事業者であり続けるため、運転士をはじめ職員一同、日夜、バスの運行業務に励んでいます。

これからも、県営交通事業へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



長崎県営バス